

最新版の Edge には、この web 版が標準で搭載され、無料で使える状況になっております。Edge を立上げ、サイドバー内にある Microsoft365 ボタンをクリックすると、Office 機能一覧が表示されるので、使いたい機能のアイコンをクリックすれば、立ち上がります。

予め、OneDrive に格納されているデータファイルの一覧も表示されます。

無料ですので、テンプレートなどは内容や数の制約がありますが、十分活用できます。

【3】 アドバイス

● 「セキュリティの警告表示」がまた発生しています！

インターネットを閲覧中、突如として「Windows-Defender-セキュリティ警告」が表示されたり、ウイルスに感染したなど、音声やブザー音などで驚かし、記載された電話に掛けさせ、高価なサポート契約を結ばせるための表示です。

正規のウイルススキャンを行った結果ではありません。

対応策は

1. まず無視をすること。 電話を架けなければ被害はありません。
2. 全面表示となり、[スタート]ボタンや[閉じる (X)]ボタンが見えない場合

① [F11]キーを押す

→[閉じる (X)]ボタンをクリックし、パソコンを再起動

② [Ctrl]キー、[Alt]キー、[Del] (Delete) キーを3つ同時に押す

→画面右下に電源マークが表示されるのでこれをクリックし[再起動]をクリック

③ 再起動後、インターネットを開き、再び発生するのか確認

→再度発生する場合は、再度①または②を実施

ご心配で、更なる対応をご希望であれば、なんでも相談へご相談ください。

● 相変わらず多い「詐偽メール」にご注意を！

最近では ETC 利用照会、えきねっと、NHK プラス、三井住友信託や秋田銀行他を騙る偽メールが多数発生しています。この他にも有名会社を偽って「利用確認」「最終警告」「緊急連絡」「解約予告」「アカウントの停止」など、驚く様な言葉の件名で送り付けてきます。

偽のトラブルで利用者の不安をあおり、偽サイトへの誘導やクレジットカード情報などの入力を要求する事例が確認されていますので気をつけてください。

これらは絶対に開けずに削除してください。

開けても、絶対にクリックしたりせず削除することが肝要です。

万が一誤って入力してしまった場合

* クレジットカードの情報を入力してしまった

偽サイトの可能性があるサイトでクレジットカードの番号や暗証番号などの情報を入力した場合、もしくは決済してしまった場合はクレジットカード会社にその旨を伝えて、クレジットカードの利用を停止する手続きを行ってください。

* 銀行・インターネットバンキングの口座情報や暗証番号を送信してしまった

偽サイトの可能性があるサイトで銀行の口座番号や暗証番号を入力した場合は、お使いの銀行に連絡した上で銀行からの案内に沿って必要な対応を行って下さい。

【4】 なんでも相談友の会の会費納入のお願い

